

GOWOW ORI、公道へ！

ライダーを主役にデザインされた中国生まれのクリーンエネルギーソリューション

欧州認証を取得し、日本でもいよいよ公道デビュー！



「最も美しい電動モーターサイクル」 - GOWOW ORIはその称号を幾度となく得てきたモデルだ。電動化することで従来のモーターサイクルの文法から解放される一方で、巨大な電池を抱え込みながらもモーターサイクルが絶えず抱える転倒への安全上のコミットメントと、モーターサイクルだからこそ必要なバランス。それを両立させることのできるマシンは、まだ多くはない。

モータリスト合同会社（東京都大田区）が輸入総代理店を務めるGOWOW ORIは、現在手に入る唯一とあっていい、そのスタイリング上の美しさと、電動モーターサイクルならではの自由さを備えつつ、機能上もまた十二分な能力を備えたモデルだ。2022年のEICMAでデビューし、日本では2023年のモーターサイクルショーで紹介され、ブースに大きな注目を集めてきたGOWOW ORI。発売開始から1年近くを経て、このほどようやく、待望の公道走行のための装備が用意され、欧州での認証を取得した。いかに先進的で、美しいモーターサイクルであっても、走れる場所が限られていては実際にお客さまにお楽しみいただける機会も限定的だ。だが、ナ

ンバーを取得し、公道を走行できる今、GOWOW ORIへの注目は一層高まっていくだろうことは間違いない。2024年はいよいよ、日本でも多くのORIが街角にたたく姿を見かけることができるようになるだろう。

GOWOW ORIのストリートモデルとは：

基本スペックは昨年発表以来大きな変更はない。ただし、ホモロゲーション取得に伴い、多くの部品が更新され、単に保安部品を取り付けただけのコンペマシンとは明確に作り込みが異なっている。灯火類はすべてLEDで用意され、オリジナルのスタイリングを損ねないよう美しく、しかしミニマリストティックにまとめられている。ステアリングロックとシートロックを備え、スマートフォンで使えるアプリも用意された（ただし日本語化はされていない）。なお、価格は昨年発表時からのままの¥1,100,000（税別）とし、保安部品装着によるコスト上昇は吸収した。合わせて、すでに販売中のファンモデルについては、¥1,000,000と値下げを敢行した。これもORIをさらに広く知っていただきたく考えてのチャレンジである。



GOWOW ORIとは（再録）：

GOWOWが考える美しく、スポーティーなニュー・エナジー・ビークル。出来上がった商品がゴールではなく、その商品を使って遊び、人生を豊かにしていくことこそが望みだ、という開発懇切とは、その隅々にまで息づいている。初めてモーターサイクルに挑んだとは思えないつくりの良さはMODE社の豊かな工業製品における経験が巧みに生かされ、また早くから世界を相手にビジネスを行ってきた同社のカルチャーが、高いクオリティへのコミットにつながっている。



その技術は、技術のためというよりは人のため。乗り手のために生み出した新しい技術は、ひるがえって環境問題への回答となり、また持続的な成長に欠かせないものはず、という考えで採用されたものだ。それは同時に、スポーツマインドを刺激し、人としてのさらなる楽しみの追求、すなわちモーターサイクルが本質的に持つ喜びの要素を拡大させるものでもあるという。

ORIのモデル名は、ORIONから。天空に輝くオリオン座は冬空の代表的な星座であり、東から登って西に沈むその姿は常に旅人や狩人の目標ともなってきた。GOWOWの最初のATB（オールテレインバイク＝全方位を楽しむことのできるバイク）としてデビューしたORIは、オリオン（オライオン）から想起されるように、地球の旅人たちに長く将来にわたってその道しるべとなるようなライディングエクスペリエンスを提供できるバイク、として名付けられたのだ。

ORIのつくり：

軽量で直線的にデザインされたボディは、フレキシビリティに富む構造ながら高剛性のアルミニウム合金製。ロードスポーツのようなツイン・スパー・フレームの堅牢な構造がバッテリーという重量物を器用に収納している。一方で、シートレールやダウンチューブへの剛性の分散を見事にこなし、これをフルカバーすることで、ダートバイクに求められる厳しい耐水、耐塵性能を両立させ、IPX7という高い水準に仕立て上げられた。特徴的な4リンクデザインのサスペンションも自社開発だ。高性能なバッテリーも自社開発のBMSを搭載し、限られたスペースながら大容量を確保した。モーターメーカーならではの自社開発の高出力モーターもORIのキャラクターづくりに大きく貢献している。



ORIはまた、4つのモードを自在に変化させることのできるアプリを用意している。アプリによってさまざまなライディングエクスペリエンスを楽しめるばかりか、将来のアップグレードにも対応できるため、愛車の陳腐化を懸念する必要もないのだ。



電動モビリティにいち早く着目し、自社ブランドの商品をはじめ、多くの電動モーターサイクルやeBike（電動アシスト自転車）に取り組んできたモータリストでは、GOWOWを将来の電動モビリティにおける重要なパートナーと位置づけ、取り扱いを開始することを決断した。ほかにはない商品デザイン、楽しさの提供はモータリストのコンセプトと一致しており、ともに将来に向けて成長していくことのできるブランドと確信している。GOWOWはモータリスト・eディーラーで取り扱いを開始するとともに、多くの新規販売店を迎え、モーターサイクルシーンに新しい風を吹き込んでいく。



GOWOW ORI 仕様諸元

全長x全幅x全高	1900 x 780 x 1100	駆動装置	420HO/13 x 48T
最低地上高	280	最大登坂角	55度
軸距	1275	最高速	100km/h
シート高	890	航続距離	100km (WLTC)
車両重量	73kg	バッテリー	73.8V38.4Ah
サスペンショントラベル	200mm	充電時間	3.5h
最高出力	9kw	タイヤサイズ	70/100-19 (F)
駆動軸トルク	420Nm		3.50-18 (R)

希望小売価格：1,100,000円（消費税10%込み：1,210,000円）

従前の公道走行不可のモデルも継続販売：1,000,000円（同上：1,100,000円）

GOWOWの公式WEBサイトを用意しています。以下ご参照ください。

<https://gowow.motorists.jp/index.html>